NRI 未来創発
Dream up the future.

NRIだより

2010年3月期 決算のご報告
2009年4月1日～2010年3月31日

Dream up the future.

NRIグループは、未来社会を洞察し、
その実現を担う『未来社会創発企業』として、
あくなき挑戦を続けます。

2010年 Vol.2

株主の皆様へ 1
数字で見るNRI 2
業種別およびセグメント別の概況 3
連結財務諸表 4
トピックス 5
会社データ 8

野村総合研究所
Nomura Research Institute

株主の皆様へ
To Our Shareholders

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

前任の藤沼より社長の重責を引き継ぎました嶋本です。どうぞ宜しくお願いいたします。

NRIは現在、第三の創業の時代を迎えている、と私は考えています。

旧野村総合研究所と野村コンピュータシステムが設立された第一の創業期、「共存の時代」。両社が合併し、コンサルティングとITソリューションの両サービス機能を取得した第二の創業期、「共生の時代」。そして、これからは第三の創業として、コンサルティングとITソリューションのシナジー効果を一層発揮して、新たに「共創の時代」をつくっていく決意でおります。

NRIの経営をおこなうにあたって、私は、「先進」、「信頼」、「品質」の三つを大切にしていきたいと考えています。常に「先進」であることをこころがけ、新しい社会のパラダイムを洞察してその実現を担っていく。顧客の「信頼」を得て、顧客とともに栄える。そして、「品質」にこだわり、安心して利用できる商品やサービスを提供することにより、社会、マーケット、顧客とともに発展していく企業を目指してまいります。

2010年3月期の日本経済は、世界的な景気後退により企業収益や設備投資が減少しました。企業の情報システム投資に対する慎重な姿勢は変わらず、情報サービス産業を取り巻く経営環境も厳しい状況が続きました。このような環境のもと、NRIグループは、保険業、銀行業向け案件に注力しました。また、事業基盤の強化を図るべく、サービス業や製造業向けの新規案件に取り組みました。コスト面では外部委託費の適正化に努め、また、品質・生産性の向上や人材育成の強化に取り組みました。その結果、売上高は前期並みの水準を維持しましたが、大型アウトソーシングサービス提供のためのソフトウエア投資による償却費の増加や新規プロジェクトの立ち上げにともなうコストの増加もあり、営業利益、当期純利益は前期比で減益となりました。

わが国の景気は自律的回復力が弱いものの、海外経済の改善や各種経済対策の効果等を背景に、持ち直しの傾向も出て来ています。このような環境のなか、NRIグループはコンサルティングからシステム開発・運用までを一貫して提供できる総合力を活かし、既存顧客への提案の強化や既存事業の拡充に努めるとともに、新規顧客の獲得や新たな事業の開拓を推進します。また、研究開発や人材育成、プロジェクト管理の強化、生産性向上活動に継続して取り組みます。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2010年6月
代表取締役社長
(CEO&COO)

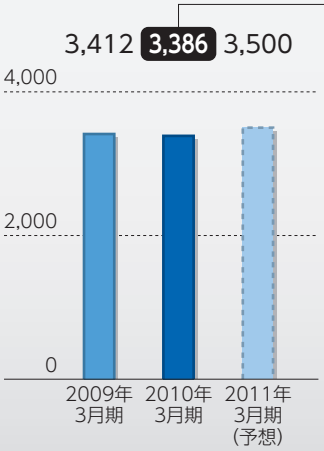
嶋本 正

数字で見るNRI

NRI at a Glance

売上高

（単位：億円）



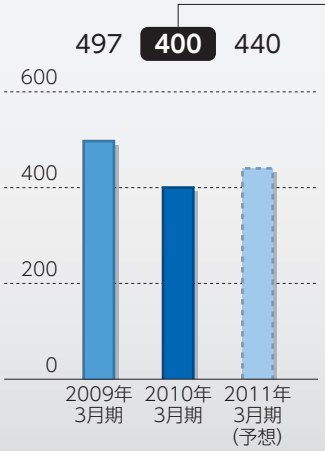
3,386億円

前期比 △0.8%

証券業向けの開発が落ち込むなか、保険業や銀行業向けにリソースをシフトし、3,386億円と前期並みの水準を維持しました。

営業利益

（単位：億円）



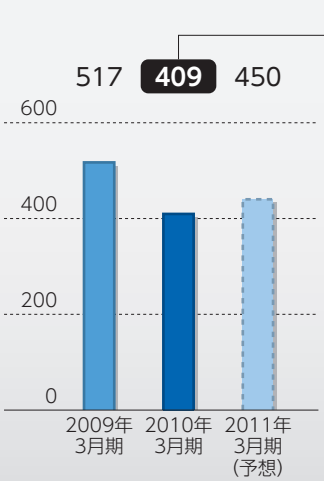
400億円

前期比 △19.4%

外部委託費が減少したものの、ソフトウエアの償却費の増加や新規プロジェクトの立ち上げにともなうコスト等により、営業利益率は11.8%（前期は14.6%）となりました。

経常利益

（単位：億円）



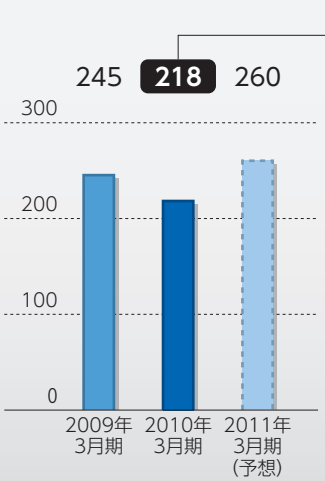
409億円

前期比 △20.8%

持分法による投資損失があったこと、受取利息が減少したことなどにより、経常利益は409億円となりました。

当期純利益

（単位：億円）



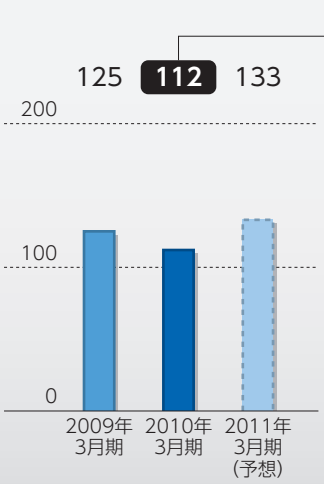
218億円

前期比 △10.8%

経常利益の減少に加え、事務所移転費用や投資有価証券評価損があり、当期純利益は218億円となりました。

1株当たり当期純利益

（単位：円）



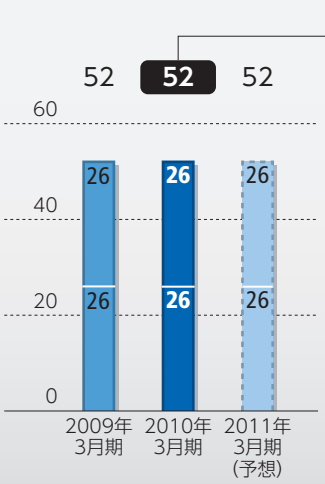
112円

前期比 △13円

1株当たり当期純利益は13円減少し、112円となりました。

1株当たり配当金

（単位：円）



52円

前期比 ±0円

配当は前期と同額の1株当たり52円（うち期末配当は26円）です。

（注）1. 記載金額は、億円未満（1株当たり当期純利益・配当金は円未満）を切捨てて表示しております。
2. 2011年3月期通期予想は、2010年4月に発表したものです。業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。したがって、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高、利益および配当金は当該予想と異なる結果となる可能性があります。

業種別およびセグメント別の概況

Summary by Sector and Segment

業種別売上高

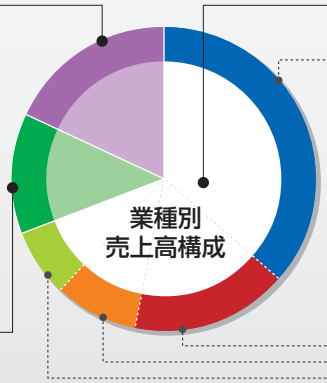
（単位：億円、%）

●その他産業等　603億円（構成比 17.8%）

●流通業　435億円（構成比 12.9%）

金融サービス業　2,347億円（構成比 69.3%）

- うち証券業　1,233億円（36.4%）
- うち保険業　569億円（16.8%）
- うち銀行業　301億円（8.9%）
- うちその他金融業 243億円（7.2%）



金融サービス業向けは、証券業向けが落ち込むなか保険業向けや銀行業向けが増加しました。

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しております。

セグメント（サービス）別売上高

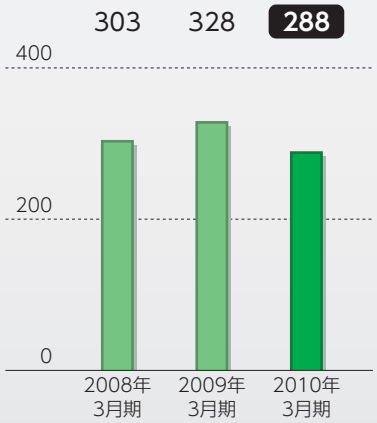
（単位：億円、%）

●コンサルティングサービス

調査・研究、経営コンサルティング、システムコンサルティングなどのサービスを提供しています。NRIグループではナレッジ（=知）を核にして、お客様の問題解決と新しいビジネスの創出を手がけています。

288億円（構成比 8.5%）

前期比 △12.1%



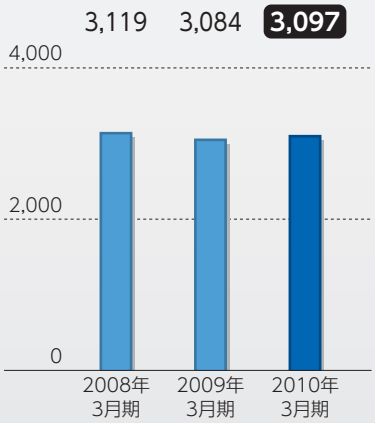
景気の低迷による企業のコスト削減で、経営コンサルティングおよびシステムコンサルティングともに案件が減少し、前期に比べ12.1%の減収となりました。

●ITソリューションサービス

最先端の情報技術と長年にわたって蓄積してきた業務知識を活用し、お客様との事業・業務改革に関わるIT戦略パートナーとして、情報システムの企画・設計から、開発・運用までをおこなっています。

3,097億円（構成比 91.5%）

前期比 +0.4%



前期に比べ、0.4%の増収となりました。証券業向けシステム開発が落ち込んだものの、証券業の主要顧客向けに大型アウトソーシングを開始したほか、共同利用型サービスにおける新規顧客の獲得などにより、運用サービスが増加しました。

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しております。

連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2009年3月期 (2009年3月31日現在)	**2010年3月期 (2010年3月31日現在)**
(資産の部)		
流動資産	122,572	137,744
固定資産	231,915	225,623
有形固定資産	58,274	58,965
無形固定資産	74,886	68,319
投資その他の資産	98,754	98,339
資産合計	**354,487**	**363,368**
(負債の部)		
流動負債	70,026	67,195
固定負債	78,994	75,936
負債合計	**149,020**	**143,131**
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	18,600	18,600
資本剰余金	14,974	15,017
利益剰余金	240,061	251,800
自己株式	△72,753	△72,526
株主資本合計	200,882	212,891
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,850	8,436
為替換算調整勘定	△2,158	△2,256
評価・換算差額等合計	3,692	6,179
新株予約権	892	1,154
少数株主持分	—	10
純資産合計	**205,466**	**220,237**
負債純資産合計	**354,487**	**363,368**

要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	2009年3月期 自2008年4月 1日 至2009年3月31日	**2010年3月期 自2009年4月 1日 至2010年3月31日**	増減額
売上高	341,279	338,629	△2,649
売上原価	240,854	245,641	+4,787
売上総利益	100,425	92,988	△7,436
販売費及び一般管理費	50,711	52,911	+2,199
営業利益	49,713	40,077	△9,636
営業外損益	2,017	870	△1,147
経常利益	51,731	40,947	△10,784
特別損益	△7,549	△3,618	+3,931
税金等調整前当期純利益	44,181	37,328	△6,853
法人税等	19,668	15,476	△4,192
当期純利益	24,513	21,856	△2,657

要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2009年3月期 自2008年4月 1日 至2009年3月31日	**2010年3月期 自2009年4月 1日 至2010年3月31日**	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	46,180	58,060	+11,879
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,994	△16,175	+54,819
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,414	△10,348	+12,065
現金及び現金同等物に係る換算差額	△68	10	+79
現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	△47,296	31,547	+78,843
現金及び現金同等物の期首残高	75,524	28,228	△47,296
現金及び現金同等物の期末残高	28,228	59,775	+31,547

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

証券バックオフィス業務システム「STAR-Ⅳ」をSMBCフレンド証券に提供開始

（2010年1月18日発表）

NRIは、三井住友フィナンシャルグループのリテール証券会社、SMBCフレンド証券株式会社に対し、リテール証券のバックオフィス業務をサポートする共同利用型システム「NRI STAR-Ⅳ」の提供を2010年1月より開始しました。今回の導入は、「STAR-Ⅳ」の利用実績、制度変更への着実な対応、機能やサービスの拡張性、品質管理の高さが評価されたものです。

「STAR-Ⅳ」は、準大手・中堅の証券会社や銀行、ネット専業証券など証券業務を営む多くのお客様に導入されています。投資家との対面販売やインターネット取引、ホールセール、仲介業など、総合証券会社の様々な取引形態に対応し、口座開設から注文・決済まで、証券会社全体の管理業務を幅広くサポートしています。

新データセンターの建設地を決定

～アウトソーシング事業とクラウドサービスの中核拠点として～　（2010年1月28日発表）

NRIは、国内で5ヵ所目、首都圏で4ヵ所目となる新データセンターを東京都多摩市に建設することを決定しました。

新データセンターの延べ床面積は2007年に建設した「横浜第二データセンター」を上回る規模を予定しており、新データセンターの建設で、NRIの全データセンターの延べ床面積は約3割増加する予定です。

新データセンターは、拡大するアウトソーシング事業の拠点となるほか、**クラウドサービス**※1の中核拠点として活用します。さらに、最先端の**グリーンIT**※2を活用し環境性能を高めることで、社会の環境負荷低減にも貢献します。

NRIは本データセンターの建設に約200億円を投資し、2012年度の竣工を予定しています。

新データセンターの完成イメージ

新データセンターの設備の特徴

環境性	自然エネルギーの有効利用と高効率な設備の採用
安全性	免震・制震構造の採用、最先端セキュリティ設備の導入等
信頼性	多重化された大容量電源・空調システムの導入

※1 クラウドサービス
ハードウエアやソフトウエア、あるいは様々な情報システムの基盤をインターネットを介して利用できるようにするサービス

※2 グリーンIT
省電力化や発熱対策など、環境に配慮したIT化の取り組み

投資顧問バックオフィス業務システム「T-STAR/RX」をりそな銀行に提供

（2010年2月8日発表）

NRIは、株式会社りそな銀行に対し、資産運用会社（投信投資顧問会社、信託銀行、銀行、生命保険会社など）のバックオフィス業務をサポートする「T-STAR/RX」の提供を開始しました。

「T-STAR/RX」をはじめとする一連の商品群である「T-STAR」ファミリーは70社以上の導入実績があり、資産運用会社の業務におけるインフラ基盤として位置づけられています。

「T-STAR/RX」を導入することにより、約定取引管理や残高評価管理などの投資顧問業務の標準化・効率化の実現が可能となります。

また、NRIの共同利用型センターサーバーを利用することで、システム増強にともなう手間・コストの削減と同時に、高いレベルの耐障害性・耐災害性の確保も実現できます。

NTTデータと共同で「ITと新社会デザインフォーラム2010」を開催

（2010年2月26日開催）

株式会社NTTデータ
代表取締役社長　山下 徹

株式会社野村総合研究所
代表取締役会長兼社長（※注）　藤沼 彰久

ITと新社会デザインフォーラム 2010
日本が変わる。ITが創る。

NRIは株式会社NTTデータと共同で、「ITと新社会デザインフォーラム2010」を開催しました。

「日本が変わる。ITが創る。」をテーマにした本フォーラムは、両社が昨年から進めているITサービス産業の活性化に向けた取り組みのひとつであり、今回が第1回目の開催となります。当日は様々な業界から約300名の方にご来場いただきました。

第一部では、ITサービス産業を取り巻く「社会」「業界」「職業」の3つの問題についての提言が、NRIの三浦智康執行役員と、株式会社NTTデータ経営研究所の三谷慶一郎パートナーからおこなわ

れました。続く第二部では、キャスター・エッセイストの福島敦子さんをモデレーターに迎え、NRIの藤沼彰久会長兼社長(※注)とNTTデータの山下徹社長による「ITサービス産業の未来に向けて」と題する対談がおこなわれました。

対談の中で、藤沼会長兼社長は「ITサービスでできることはものすごく広い。幅広いニーズに対応していくためにもスキルをもった人材の育成は急務」と述べました。山下社長は「国際競争力を強めていくためにはイノベーション

株式会社野村総合研究所
コンサルティング事業本部副本部長(※注)
執行役員　三浦 智康

株式会社NTTデータ経営研究所
情報戦略コンサルティング本部長
パートナー　三谷 慶一郎

への投資が必要」とし、官や民との連携も視野に業界活性化を進めていく考えを示しました。

来場者のアンケートでは、「NRIとNTTデータのコラボレーションということから、もう少し閉鎖的かと思ったが、どちらの会社もオープンでとても良かった」「今後も同様のフォーラムがあれば是非参加したい」などの声が寄せられました。NRIとNTTデータは、ITサービス産業の活性化に向けた取り組みを今後も進めていく予定です。

※注 肩書きは開催当時

金融機関向けインターネットバンキングサービスを2011年度より提供開始

～ フルバンキング機能、ナビゲーション／セールス支援機能を搭載 ～　(2010年3月26日発表)

NRIは、金融機関向け共同利用型インターネットバンキングサービスの提供を、2011年度より開始します。

すでに多くの金融機関で提供されているインターネットバンキングは、店舗窓口やATMと並んで金融機関の重要な顧客窓口のひとつですが、利用率がなかなか上がらない、サービスの改善や追加は費用対効果から見て判断し難い、といった課題を抱えています。一方で、インターネットバンキングの利用を促進し、収益化を図っていくためには、利用者にとっての利便性を高めるとともに、利用者の様々な金融ニーズに応えていくことが求められています。

2011年度よりNRIが提供するインターネットバンキングサービスは、NRIがこれまでインターネットバンキングシステムの構築支援で培ったノウハウを活かしています。振込・振替、定期預金、外貨預金、投資信託、国債、ローンなどに対応した使い勝手の良いフルバンキング機能を搭載するとともに、利用者に対し、視覚的にわかりやすく金融情報を提供する予定です。

本サービスは、NRIからの販売だけでなく、代理店販売による提供もおこなっていく予定で、今後3年間で10行程度への提供を目指します。

会社データ
Corporate Data

会社概要

会社名	株式会社 野村総合研究所
英文社名	Nomura Research Institute, Ltd.
所在地	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番5号 丸の内北口ビル
沿革	1965年4月 株式会社野村総合研究所 (NRI) 設立 1966年1月 株式会社野村電子計算センター (NCC) 設立 1988年1月 両社が合併
資本金	186億円
代表者	代表取締役社長 嶋本 正
従業員数	5,314名／NRIグループ6,263名 (2010年3月31日現在)

株主メモ

■ 株券電子化にともない、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

■ 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記特別口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

■ 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
単元株式数	100 株
公告方法	電子公告 (当社ホームページ http://www.nri.co.jp) ただし、事故その他のやむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(連絡先・照会先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)

株式会社 野村総合研究所
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビル
TEL 03-5533-2111 http://www.nri.co.jp

Printed in Japan